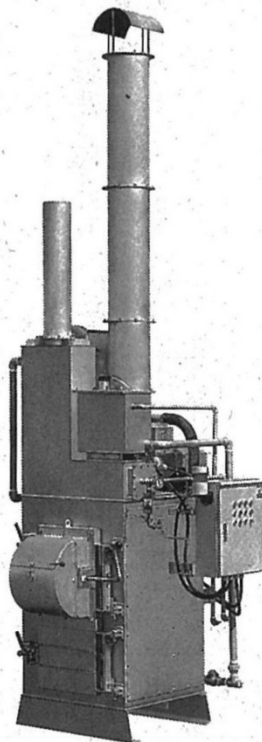


DAITOO 小型ハイスペ焼却炉『IRZ』販売中

養鶏場や事業所のゴミ 渦巻く炎で焼き尽くす

DAITOOの焼却炉『IRZ』シリーズ



焼却炉メーカーのDAITOO（井上滋樹社長）は、愛知県瀬戸市原山町145は、養鶏場や食品事業者に向けて小型でありながらハイスペックな焼却炉『IRZ』の導入を勧めている。

IRZは廃プラ対応型で、すべての焼却炉関連の法律に適合。小型機のため設置の届け出も不要。養鶏場や各事業所から出るあらゆる可燃ゴミ、剪定枝、廃プラ、鶏舎の破損部分、斃死鶏などを素早く焼却処理できる。

円筒型の炉内に特殊パイクからエアを吹き込み、火炎の渦（竜巻）をつくり出すことでゴミを満遍なく、効率的に焼き尽くす。その一方、過度な高温のため、空焚きにつながるため、水位低下を知ら

せるランプや、異常高温を知らせる警報ブザーも標準装備する。従来の水冷式焼却炉に比べてコンパクトで、標準型の『IRZ-400M』の外寸は高さ2750mm×幅1460mm×奥行き1465mm（煙突部分は地上高4830mm）。投入口はタテ975mm、ヨコ415mm。総重量は1トン。

燃料タンクには40リットルの灯油を注げる。焼却能力は1時間当たり29kg（廃プラの場合は12kg）本体価格は税別380万円。より高機能で耐久性に優れる『IRZ-450M』（同480万円）は熱交換器付きで、温水の回収と利活用ができるモデル。このほか埼玉県例対応型『IRZ-350M』（同380万円）などもある。

DAITOOの営業担当者には「当社ホームページには焼却実演の動画なども用意している。渦巻く炎による『旋回燃焼』の様子をぜひご覧いただきたい。全国の養鶏場が飼養衛生管理基準を守り、ゴミをため込まない経営を目指す中で、我々の焼却炉が役立てばと思う。動物性残さに特化したモデルもあるため、焼却炉の更新や、新たな導入を検討している方は何でも気軽に聞いてほしい。ゴミ処理を自社完結できる。」



SDGsの観点から、焼却炉の最大の魅力。『中小企業経営強化法』による一括償却ができる税制優遇も受けられる」と話している。

問い合わせはDAITOOお客様窓口（電話0120・21・3136、FAX0561・21・3161、Eメール=sounin@daio-co.com）へ。ホームページ（右のQRコードまたは<https://www.daito-co.com/index.html>）の専用フォームからも受け付けている。